

# 7月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年7月末現在〕

令和2年8月12日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、主要3指標DIを見ると、「景況」は改善し、「売上高」は変化がなく、「収益状況」は悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は、全てで改善した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は、全てで悪化した。

6月の回復の反動により製造業の数値が悪化し、全体の数値を押し下げた。

## 景況DI

製造業は、前月比11.6ポイント改善の-69.2ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント悪化の-50.0ポイント、全体では、前月比2.0ポイント改善の-60.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比26.9ポイント改善の-57.7ポイント、非製造業は、前月比29.1ポイント悪化の-45.8ポイント、全体では、前月比で変化なしの-52.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比3.9ポイント改善の-76.9ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント悪化の-62.5ポイント、全体では、前月比10.0ポイント悪化の-70.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和2年7月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	新型コロナウイルス感染拡大で3月の政府からの緊急事態宣言により、県内も段階的ではあったにしろほぼ全域で一斉休校になった。その措置を受け学校給食関係団体・業者は大攻撃を被った。その対応策として文科省より地方創生臨時交付金の支給が3月分の発注をもとに交付された。4・5月についても同様の支給を対象とするように様々な活動をしている。
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県6月の清酒課税移出数量は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され飲食店の営業時間の制限も解かれたことから清酒全体で対前年同月比93.1%まで戻った。本格焼酎については清酒程戻らず、対前年同月比79.7%であった。清酒について、高級酒である特定名称酒に対して全体量の45%の一般酒は対前年同月比82.3%と低位であった。7月は新型コロナウイルス感染第2波により売上は減少すると思われる。清酒の輸出については、新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みが大きく、令和2年5月の輸出数量(全国ベース)は対前年同月比48.9%と50%を割る大幅減少となっている。輸出の回復には時間がかかる見通し。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で厳しい状況が続いているが、6月は感染も落ち着きを見せ、外飲みも増え蔵元の出荷も増加した。しかし7月に入り再び感染者が増え、出荷も落ちてきている。
	納豆	新型コロナウイルスにより大変厳しい。土産品関係の売上も前年同月の半分以下である。先行きが大変不安になる。一般消費は、少し厳しくなっている。人手不足で困っている。
	菓子	依然として新型コロナウイルスの影響を受けているが、若干の回復の兆しあり。緊縮経営をしている。
	漬物	今まで売上が好調であった飲食量販店でも、売れる商品と売れなくなっている商品が区別され、漬物は売れなくなっている商品になってきている。
	繊維工業	織物
袋物		ここにきて新型コロナウイルスの感染者数増加により、あまりいい動きが見られない。一般の販売商品は様子見状態か。深刻な状況である。
衣服		
木材・木製品	製材	・コロナ禍における需要の不透明感があり、全体的に低調な動きだった。 ・針葉樹合板は、先月に比べると荷動きは低迷し厳しい状況で価格変動が見込まれる。 ・輸入合板は、相変わらず引き合いが弱い。 ・プレカットは、新型コロナウイルスの影響による受注減と梅雨時期による基礎工事の遅れ、納品のずれが生じ、低調な動きとなった。 ・原木についても、新型コロナウイルス、長梅雨の影響で出荷量が急速に減り、価格も底入りとなってきた。
	県北地区プレカット	徐々に前年同月程度の売上を確保することができた。8月も加工予定は入っている。
	県央地区プレカット	7月も6月同様に生産量が約30%の落ち込みとなっている。7月の見積件数は多く入ってきたので、9月以降生産量が増加に転じるようお願いしたい。
紙・紙加工品	段ボール	大手も7月の売上は前年割れの所が多くみられた。6月は5月よりも持ち直してきただけに7月は期待していたが、ペースダウンを余儀なくされた。先が全く見えない状態が続く、先行きが不透明である。体力勝負で土俵際。国の制度を活用していかないといけない。
印刷	総合	今後しばらくの間、新型コロナウイルスの感染拡大は収まらない状況が続くとみられるため、組合員各社は「じっと耐える営業」を強いられている。経済活動に連動している印刷業界の受注減少・収益悪化は続くだろう。
化学・ゴム	自動車部品	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	窯業・土石製品	県央地区石材	
		県西地区石材	
		コンクリート製品	
		焼物	依然として新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。秋にイベントを考えているが、開催できるかどうか不安がある。
		生コンクリート	
	鉄鋼・金属	鍍金	・売上高は取引先の業種により差があり、前年同月比15～30%の幅で減少した。自動車部品は6月よりは多少持ち直したが、前年同月比30%以上売上が減少した組合員が多かった。また、比較的好調であった建築関連部品も受注が減少傾向にある。全体的には6月よりは上向いてきたが、前年同月と比べると売上・収益状況とも減少している。 ・金属については、貴金属・ニッケルなどは高値で推移、亜鉛は少し値下がりした。 ・薬品等については大きな変動はない。
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少となった。全体増減率は前年同月比69%であった。前月7月が好調であったことも影響して本年7月の売上は全組合員共に低調で、前年同月比31%減と今年2番目の減少となった。客筋の販売は国内外ともに不調だったようで新型コロナウイルスの悪影響から脱していない。
	電気機器	重電	
輸送機器	自動車部品	操業度が低下しても従業員を削減するのは難しく、固定費の圧迫で各社の経営は厳しい。	
	輸送車両		
その他の製造業			
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比2.84%増加。先月同様、量販店(スーパー等)が伸びたため全体では取扱高が伸びているが、仲卸業者・一般買受人等は販売に苦慮している。 飲食業(宴会場等)を運営している買受人によると、多少改善してきたかに見えるが、新型コロナウイルスの影響でまたキャンセルが増えてきている状況。
		県南地区卸	売上高については学校・幼稚園・保育園等の給食停止のため受注量が減少し販売不振。給食が始まり、今後は食品関係の売上が増加見込み。各組合員の売上は、前年同月比で「不変」と回答したのが16社、「悪化」と回答したのが11社だった。
		食品卸売	7月は、野菜・果実合計で前年同月比118%の取扱高となった。長く停滞した梅雨前線により、日照時間や気温が平年を下回った影響から野菜の単価やは前月に続き高値で推移した。また、果実に関しても出荷量が全体的に少なく、単価高で推移している。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比約8%の減少。雨天続きで工事の遅れが発生したことが減少の要因と思われる。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	小売業	
	県北地区共同店舗	売上は前年同月比87.6%、客数は同100.3%。それにも関わらず、前年同月の売上を確保した店舗は62.5%であった。飲食店も少しずつ回復してきた感が出てきたところで新型コロナウイルスの感染が拡大しており先行きが不透明。
	県央地区共同店舗	館全体の売上は前年同月比100%、食品は同106%、飲食が同102%で推移。服装は退店の影響もあり同81%と苦戦した。全体としてはマスク関連・生鮮3品(魚・肉・野菜)や飲食、書籍、文具の販売が好調であったが、店舗間の売上格差は広がっており問題となっている。
	県南地区共同店舗	7月も新型コロナウイルスの影響で客数減少。ゲーム、アミューズメント、フィットネス、リラクゼーション、理容、歯科が回復せず。全体では、集客販促や賑やかなための販促ができず苦戦が続く。さらに、長雨続きで夏物衣料も大苦戦。前年同月比で売上は、衣料78.5%、文化品88.2%、食品93.5%、飲食96.5%、サービス83.3%、全体89.8%となった。
	クレジット	
	家電	新型コロナウイルスの影響により市場環境悪化。売上減少になっている組合員も少なくない。家賃支援給付金や持続化給付金、資金繰り支援といった支援策があるが、組合員が活用したという話がなぜかあまり聞こえてこない。秋・冬商戦の際に現在より状況が悪化する可能性もあり不安である。給付・助成・貸付・猶予・減免と支援があるが、中小企業に対する新型コロナウイルス支援を期待したい。
	石油	コロナ禍による石油燃料の消費については、前年の9割程度に回復しつつあるものの国際経済の落ち込みが激しく、原油価格は前年度に比べ値下がりしているため、小売販売価格も12.3円安くなっている また、コロナ禍、長雨の影響により需要が減少しているため、販売量を確保しようとする事業者も出てきており、まだ先の見えないコロナ禍の中、過度な価格競争によるこれ以上の収益悪化は避けたい状況。
	農機具	
	中古自動車	7月の販売台数は前年同月比72.0%と6月の69.2%から若干回復したものの依然大幅に減少しており、販売価格も同93.0%と落ち込んだことを受け、売上は同67.0%となり、6月の70.7%からさらに悪化した。また、新車・中古車の販売低迷による下取車減少及び流通車不足の影響で、仕入価格の高騰や在庫車が減少傾向にあり、厳しい小売環境が続いている。
飲食店	7月より国のキャッシュレス・ポイント還元事業が終了。組合員のキャッシュレス比率が20%以上と向上した。キャッシュレス・ポイント還元事業終了に伴い、消費増税の影響が大きくなったが、コロナ禍においてのスーパー業界の好調な状況が依然として続いているため消費増税の影響が見えてこない。今後は、9月からのマイナポイント事業に向けて準備し、引き続きキャッシュレス比率の向上に努めたい。	
商店街	水戸	
	筑西	新型コロナウイルスによる顧客減少が著しい。先が全く読めない。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が95.3%、軽自動車が100.2%となり、普通車は減少し軽自動車は微増となった。
	ホテル・旅館	長雨・日照不足により食材費が高騰した。また、新型コロナウイルス感染者増加は、戻りつつあった来県者を減少させるだけでなく、7月17日開始の「いばらき応援割」の集客エリアを縮小させる結果となった。しかしながら、7月下旬の連休を含め6月と比較して稼働率の微増が見られたようではあるが、販売価格を下げているため、売上は前年同月比5割程度減少している。
建設業	総合	工事入札物件が増えてきた。ダンピングによる入札は続いているが適正価格での入札も増えてきた。新型コロナウイルスの影響による受注減少はないと考えられるが、工事における三密状態は避けられそうもない。各社アイデアを出して努力している。現場の新型コロナウイルス対策が不十分なところが多く感染の危険を意識しながらの作業は熱中症対策と同時にになるので苦慮している。
	電気工事	
	管工事	
	交通安全施設	
	型枠工事	建設業界は新型コロナウイルスの影響が少なかったが、7月に入り東京都内から新型コロナウイルスが地方に拡散し始まっている、これまでより強制的に感染症対策をしないといけない。さらに、影響の大きい業界の施設投資が縮小されることが見込まれるので、受注量の減少により価格競争が起こり発注単価の下落が懸念される。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和2年7月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	当月の組合員数は116名、車輛台数は148台で前月と比較して2名増加、4台増加となった。また、全国連合会での当月の組合員数は7,709名、車輛台数は9,145台で前月と比較して9名減少、12台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向について、引き続き出荷物量は減少したまま売上も減少している。燃料価格も引き続き上昇しており、収益は厳しい状態が継続している。
	その他の非製造業	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	学校給食におけるパンの回数増加要望
	酒	全ての酒類業者が新型コロナウイルスにより重大な経済的支援を受けており、今後の経営存続に懸念が生じている。行政への再度の持続化給付金等の財務支援のご検討をお願いしたい。
	漬物	業種問わず中小企業の現況を教えてください。
小売業	石油	・新型コロナウイルス感染症による経営環境悪化に対する補償 ・揮発油税を課税している二重課税の廃止
建設業	総合	工事現場における新型コロナウイルス感染防止対策費を計上していただきたい。具体例として、広めの現場事務所設営費、手洗いシャワー設備費、送風機費、換気装置のある作業着費、建築改修工事においては建物の電気設備空調設備の無償使用などをよろしくをお願いしたい。
	型枠工事	上記の事態を改善するための対策や御指導をお願い致します。

月次景況調査 7月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	7月	6月	前月比	7月	6月	前月比	7月	6月	前月比
景 況	▲ 60.0	▲ 62.0	2.0	▲ 69.2	▲ 80.8	11.6	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 8.3
売 上 高	▲ 52.0	▲ 52.0	0.0	▲ 57.7	▲ 84.6	26.9	▲ 45.8	▲ 16.7	▲ 29.1
収 益 状 況	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 10.0	▲ 76.9	▲ 80.8	3.9	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 25.0
販 売 価 格	▲ 8.0	▲ 8.0	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0
取 引 条 件	▲ 22.0	▲ 24.0	2.0	▲ 15.4	▲ 23.1	7.7	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 4.2

# 中小企業月次景況調査(令和2年7月)DI値(前年同月比)

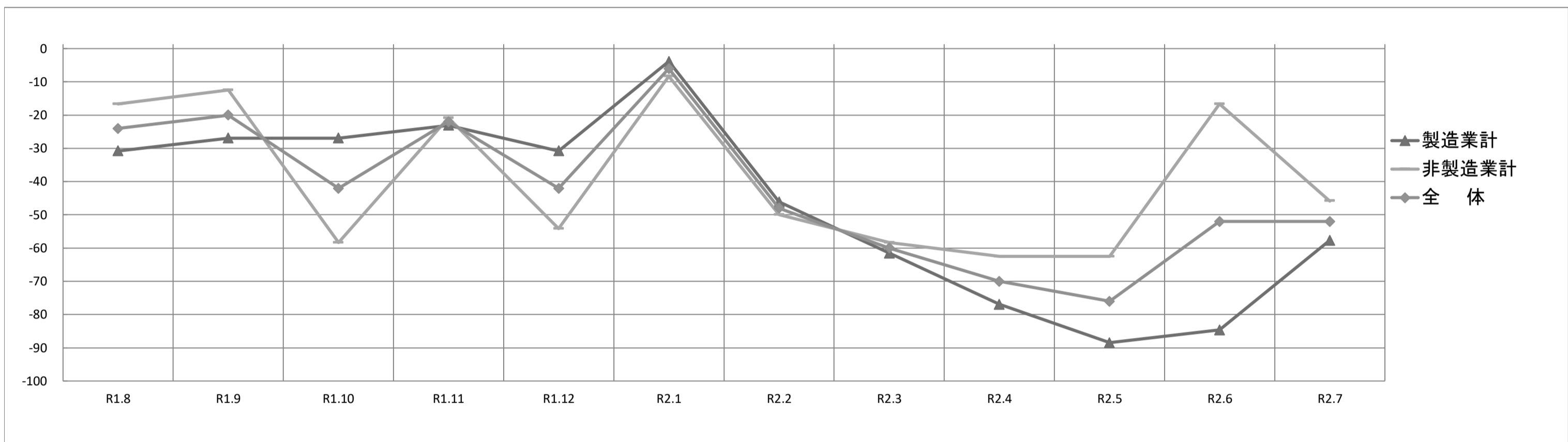
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 66.7	1	0	5	6	16.7	1	5	0	6	0.0	0	6	0	6	16.7	1	5	0	6	△ 50.0	1	1	4	6	△ 33.3	1	2	3	6	△ 16.7	1	3	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 50.0	1	1	4	6
	繊維工業	△ 100.0	0	0	3	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3
	木材・木製品	△ 33.3	1	0	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	0.0	1	3	1	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 60.0	0	2	3	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	1	2	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2
製造業計	△ 57.7	4	3	19	26	△ 15.4	1	20	5	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 15.4	1	20	5	26	△ 76.9	1	4	21	26	△ 53.8	1	10	15	26	△ 46.2	2	10	14	26	△ 15.4	0	22	4	26	△ 69.2	1	6	19	26	
非製造業	卸売業	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4					0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4	
	小売業 (商店街含む)	△ 63.6	1	2	8	11	△ 18.2	2	5	4	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 45.5	0	6	5	11	△ 90.9	0	1	10	11	△ 81.8	0	2	9	11					△ 18.2	0	9	2	11	△ 72.7	0	3	8	11	
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2						△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	
	建設業	△ 20.0	1	2	2	5						0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5					△ 20.0	0	4	1	5	20.0	1	4	0	5	
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2						0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	
	非製造業計	△ 45.8	3	7	14	24	△ 13.3	2	9	4	15	△ 8.3	2	18	4	24	△ 29.2	0	17	7	24	△ 62.5	0	9	15	24	△ 50.0	0	12	12	24					△ 12.5	0	21	3	24	△ 50.0	1	10	13	24	
全体	△ 52.0	7	10	33	50	△ 14.6	3	29	9	41	△ 8.0	3	40	7	50	△ 22.0	1	37	12	50	△ 70.0	1	13	36	50	△ 52.0	1	22	27	50	△ 46.2	2	10	14	26	△ 14.0	0	43	7	50	△ 60.0	2	16	32	50	

## D I 値推移表 (R1.8月 ~ R2.7月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 90.0	▲ 55.0
製造業計	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 76.9	▲ 88.5	▲ 84.6	▲ 57.7
卸売業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	25.0	50.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 63.6
サービス業	50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	40.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 100.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 62.5	▲ 16.7	▲ 45.8
全体	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 76.0	▲ 52.0	▲ 52.0

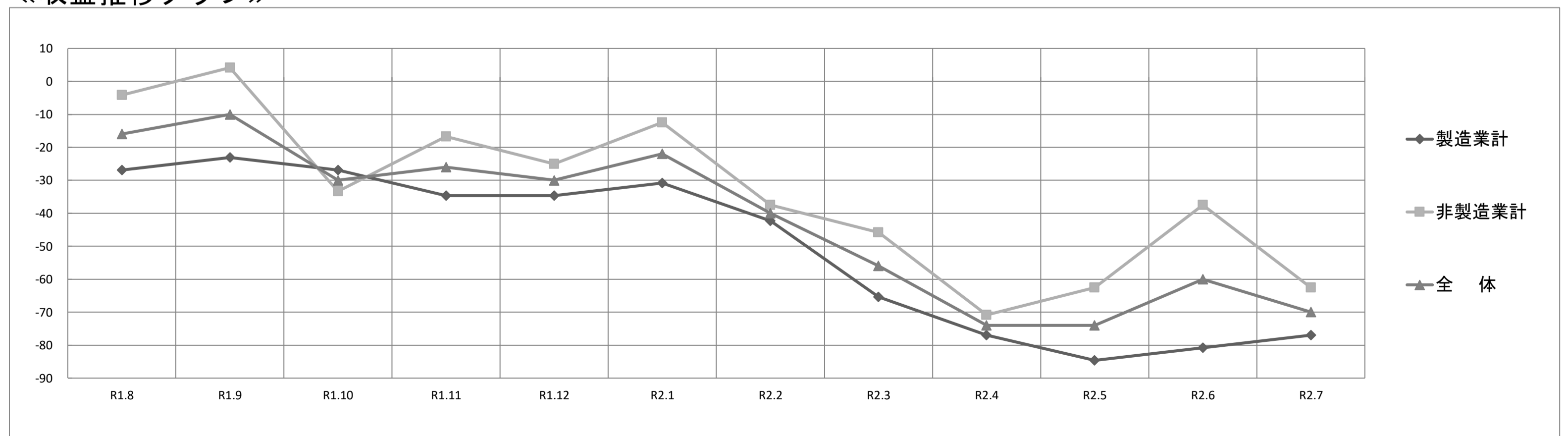
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
食料品製造業	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 65.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 80.0	▲ 85.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 65.4	▲ 76.9	▲ 84.6	▲ 80.8	▲ 76.9
卸売業	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0	25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 90.9
サービス業	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 70.8	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 62.5
全体	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0	▲ 56.0	▲ 74.0	▲ 74.0	▲ 60.0	▲ 70.0

### 《収益推移グラフ》



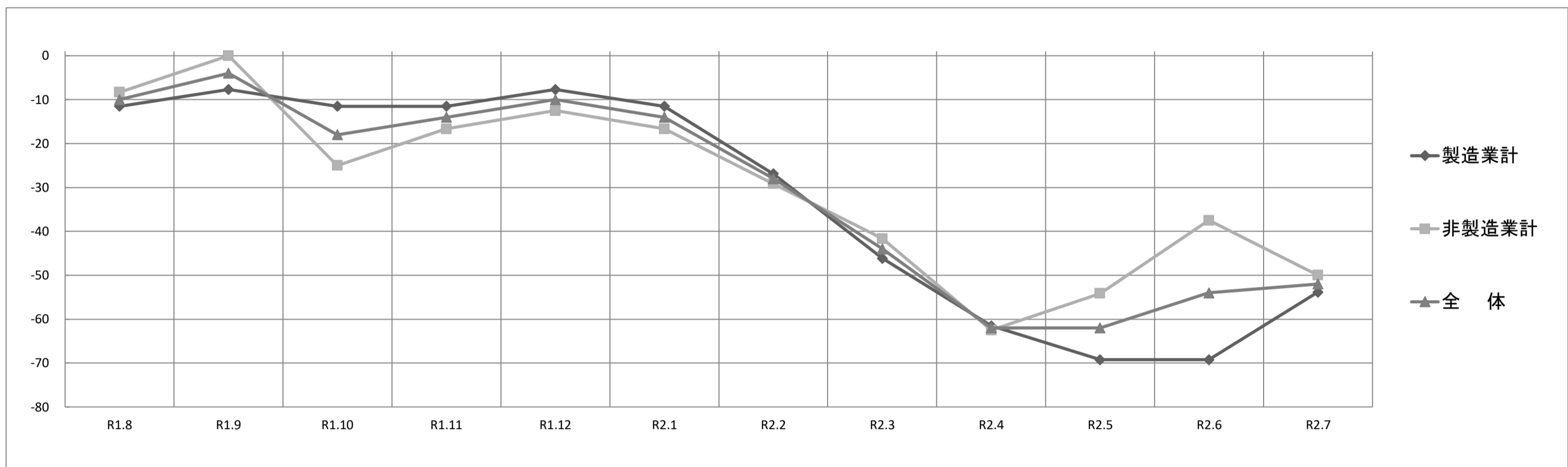


## D I 値推移表 (R1.8月 ~ R2.7月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
食料品製造業	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 55.0	▲ 65.0	▲ 65.0	▲ 60.0
製造業計	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 69.2	▲ 69.2	▲ 53.8
卸売業	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 81.8
サービス業	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 62.5	▲ 54.2	▲ 37.5	▲ 50.0
全体	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 62.0	▲ 62.0	▲ 54.0	▲ 52.0

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 55.0	▲ 85.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 75.0
製造業計	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 57.7	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 69.2
卸売業	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 72.7
サービス業	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	20.0	20.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 50.0
全体	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 66.0	▲ 78.0	▲ 72.0	▲ 62.0	▲ 60.0

### 《景況推移グラフ》

